

でございます。隣接する土地との境界に設置していたものでありますけども、防風ネットが老朽化して危険なため撤去するというところでございます。

また、13節、15節、工事請負費でございますが、先の全協でも説明申し上げました体育館の屋内ステージの補強工事年設計委託料と、1つ目は屋内ステージの補強工事と校舎のバルコニーの塗装工事の費用として計上させていただいたものでございます。

また、18節の備品購入につきましては、管理備品として保健室にコードレス電話機を1台増設するというところで4万5,000円を計上させていただきましたし、また、芝刈り機の17万9,000円につきましては、現在、エンジン式の手押しの芝刈り機が古くなって、部品の摩耗が激しく修理が不能ということでありますので、これを交換するというところで計上させていただきました。

3目の埴川小学校費につきましては、140万9,000円の減額でございますが、校務員の異動に伴うもの、マイナス155万3,000円の減額と、管理備品として学校の保健室のコードレスの子機を増設するというところで計上させていただいたものでございます。

次のページでございます。

八森小学校費の15万円の補正でございます。手数料でございますが、今回、当初予算でバスケットボールのボードを取り替えいたします。ボードのフレームの点検手数料として、耐震の確認が必要ということでありますので、ちょうど足場を組んでいる状況でありますので、これを利用してやるということで15万円計上させていただきました。

次に中学校費でございます。

水沢中学校費の385万7,000円、使用料及び賃借料、電話機のリース料として5万7,000円の計上でございますが、現在の電話機がリースの12年経過しておりまして、部品もなく、今回、保健室にコードレスを増設しようとしたら対応できないということでもありますし、部品もないということでありますので、この際、電話機を交換しようということでリース料として計上したものでございます。

次のページをお願いします。

34ページ、峰浜中学校費の継続でございますが、グラウンドに設置している防球ネットの支柱及びネットの傷みが非常に激しく、強風等によって倒壊するおそれがあるために改良するものでございまして、380万円計上させていただきました。

八森中学校費の323万5,000円につきましては、事業費といたしまして54万8,000円でございます。体育館の雨漏りの修繕でございますが、窓等取付部分のシーリングの劣化に

伴いまして雨漏りがあるということで、これを補修するものでございます。

また、15節の工事請負費として260万円につきましては、度々話題になりますAアリーナとBアリーナの中間に遮熱のカーテンを設置しようということでありまして、計上させていただきましたものでございます。260万円でございます。

また、備品購入費として管理備品8万7,000円につきましては、コードレスの増設に伴う費用でございます。

35ページでございます。

社会教育総務費につきましては、人事異動に伴うものでございます。

文化活動費の14万7,000円につきましては、旅費と需用費でございますが、新美術館が暫定オープンすることになりまして、今年の9月7日から17日までは市町村を紹介するための写真の展示をするということが決まりまして、そのためのネガから現像する経費と、それを搬入・搬出するための費用として計上させていただいたものでございます。

次のページをお願いします。

36ページ、八森文化交流施設管理費として586万5,000円につきましては、これも全協でご説明いたしましたファガスの冷却塔の工事の関連に伴うもので、監理業務の委託料と工事請負費を計上させていただいたものでございます。

それから、あきた白神体験センターの補正として15万1,000円を計上させていただいた中の12節と18節の件でございますが、6万8,000円の通信運搬費でございますが、先の町長の行政報告でも申し上げました営業職員を1名採用しております。最新の機器を使ってタブレットを導入して営業活動をしようということで、回線使用料を計上させていただいたものでありますし、18節の備品購入費につきましては、それとあわせてビデオカメラを購入して、体験活動もこのタブレットに組み込んで営業活動をしようということで、購入したいということで計上させていただきました。

次に、37ページでございます。

保健体育総務費の2万1,000円の計上でございますが、旅費の8,000円と使用料及び賃借料、高速道路使用料でございます。普通旅費の8,000円でございますが、今年度に入って各種会議が増えたということで、今後見込まれる不足分として8,000円の計上と、8月24・25日、仙台市で開催される東北地区のスポーツ推進委員交流の集いに出席するための高速道路使用料を計上漏れしてしまいまして、今回改めて計上させていただいたものでございます。

以上でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

○議長（須藤正人君） これより議案第71号について質疑を行います。質疑ありませんか。

2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） 何点かあるんですが、まず3点についてお尋ねをいたします。

まず、6ページですけれども、青年就農給付事業交付金14名分ということで2,100万円、月にすると10万ちょっとくらいの金額かなと思うんですが、この青年というのはどういうふうな年齢の人たちの青年ということなんでしょうか。これから農業をやっていく上で後継者としてなのか、それともまた単なる労働力としてなのか、その辺の青年ということについてちょっとお尋ねをいたします。

それから、同じページの田中の若狭さんから100万円の寄附があったんですけれども、この後ろの方に観光振興といいますか、そちらの方にお金が入っていますけれども、これについて観光の方に使ってほしいとかというふうな何かあったんでしょうか。もっと福祉の面とか、子どもたちに利用してほしいとか、高齢者のために何かというふうなことが全然なくていただいたお金なのでしょうか。その辺ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

それともう一点、保育士の早期退職があったようですけれども、何歳でどういう、できましたら何かこう原因があったのかどうなのか、その辺についてもちょっと、それからその補充についてどうするのかということについて、まずお尋ねをいたします。

○議長（須藤正人君） 2番議員の質問に対し、答弁を求めます。松森農林振興課長。

○農林振興課長（松森尚文君） 見上議員の1点目の青年就農給付金事業補助金についてお答えします。

年齢は、これは国のいわゆる新規事業でありまして、年齢要件もあります。原則45歳未満だそうであります。

○議長（須藤正人君） 武田企画財政課長。

○企画財政課長（武田 武君） この田中の若狭さんは町外ですが温泉施設関係、これを経営しておりまして、町内の観光関係に充ててくださいというふうな形で要望がありましたので、観光に積み立てております。

○議長（須藤正人君） 伊勢幼児保育課長。

○幼児保育課長（伊勢 均君） 見上議員のご質問にお答えします。

保育士の早期退職の件でございますけれども、家庭の事情ということで、旦那さんが

退職されまして、その方も早くお孫さんを見たいということで早期退職いたしております。

それで、新たな職員の採用でございますけれども、今、代替保母等お願いしております、新たな採用はまだ今のところ検討しておりません。

以上です。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。5番門脇直樹君。

○5番（門脇直樹君） 29ページの中央公園ウォーキングコース舗装工事420万円ですが、以前、地域住民の話を聞いたことがあります、バスケットコートを作ったんですが、バスケットを8時、9時までやってうるさい、街灯・照明の明かりが目にはささる、芝を整備したのはいいが、子どもが走り回って芝が傷む、こういう話を聞いたことがあります。公園という性質上ね、お金落としてもらうところではないんですが、それに見合った利活用がされているのか、この辺どう考えていますかね。

○議長（須藤正人君） 5番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。須藤産業振興課長。

○産業振興課長（須藤徳雄君） お答えいたします。

そういった声というか、4月から私の方へきたのですが届いておりません。いずれ、中浜の自治会長さんの方からは、そういったことではなくて周回のウォーキングコースが傷んでいるので、まずそちらの方からお願いしたいという話がありましたので、今回補正予算ということでお願いしたわけでございます。

それから、芝の関係については、当然中央公園ですので、芝の中で遊んで結構でございます。ただ、芝の養成については、今まで手をかけていない、単に草刈りだけやっているというような状況ですので、今回そこあたりについては、芝の養成についても注意してやるということにしております。どんどんどんどん使っていただきたいと思っております。

うるさいということについてももしあるとすれば、そこあたりについては自治会長さんと話し合いながら、周辺の住民の方に説明するなり、それから、夜遅くには遊ばないとか、大きい声を出さないようにとか、そういったものについては今後検討していきたいと思っております。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。5番門脇直樹君。

○5番（門脇直樹君） 地域住民の要望があつてね、ウォーキングコースを整備するのは、

それはそれで構わないですが、中浜周辺のウォーキングしている人をたまに見ますと、例えば真瀬の方に歩いていくとか、結構そういうコースでウォーキングしている人が多いんですよ。そういう、この420万円というお金をかけてね、そのコースを整備する必要性が本当にあるのか。あとは、例えば時々ファガスを利用することがありますが、学童保育の子どもが危なっかしい駐車場で野球をやったり遊んだりしております。天気の良い時は、こういう中央公園に連れて行って遊ばせるとか、もう少し利用促進を図るとか、公園のね、その辺もあわせて考えていく必要があると思いますが、どうですかね。

○議長（須藤正人君） 須藤産業振興課長。

○産業振興課長（須藤徳雄君） 門協議員の提言というか、お答えいたします。

やはり真瀬の方にウォーキングしている方もおられます。それから、町道であったり国道であったり、その歩道をウォーキングされている方もおりますが、非常にやっぱり危ないわけでありまして。今回、能代市の方で朝ウォーキングをしていて交通事故に遭った八森町役場OBの方もおりますが、ああいった方って幾ら注意しながらも、そういった事故に遭うというケースもございますので、議員おっしゃるとおりウォーキングコースを整備した後とか、すぐにでもああいう施設があるんだよと、周知については徹底していきたいと思っております。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。3番柴田正高君。

○3番（柴田正高君） 学校費についてお伺いいたします。

各水沢小学校、埴川小学校、それから八森中学校ですか、等に保健室にコードレス電話を設置する予算が計上されておりますけども、この金額にばらつきがあるのはどういう理由なのかということと、それから、峰浜中学校には保健室に既に設置されているから今回予算計上されなかったのか。それから、峰浜中学校には電話機のリース料ということで5万7,000円追加されておりますけども、これは電話1台の分なのか、それとも数台のリース料としてこの金額なのか。それと、なぜ峰浜中学校だけがリースになっているのか、以上の点についてご説明ください。

○議長（須藤正人君） 千葉教育長。

○教育長（千葉良一君） 柴田議員のご質問についてお答えいたします。

まず、この保健室に今のところ電話機はついていないわけでありまして、最近やっぱり保護者への緊急の連絡とかもしあった場合に、救急車とか、子どもに養護教諭がついていながら用を足したいということで県の方からのできればという要請もあって、うち

の方で計上させていただいたわけでありまして、ただ、この学校によって、この金額が違うのは、設置した電話機の容量といいますか機種によって金額が違っておりました、その機種による違いが子機の違いが出てくるわけでありまして、その分としてやはり違いが出てくるということでありまして。

それから、峰浜中学校にも本来であれば今のついているビジネスフォンに子機をつけたわけでありまして、古くなっておりました、子機も、電話機そのものが増設もできないし、もちろん子機も、コードレスの子機も、このついている電話機の子機がもう発売されていないということで、今回は全面的にそれを取り替えようということでありまして、総額で金額で42万円でありまして、その7年のリースでありまして、月に7,014円の8カ月分と、これから工事を行って来年の3月までの8カ月分として5万7,000円を計上させていただいたということでありまして。

以上でございます。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。3番柴田正高君。

○3番（柴田正高君） 今の金額の違いは、機種の違いで金額4万5,000円から8万7,000円、あと峰浜自体でも金額の開きがあるんですね。どういう違いで機種がこう違ったのか、統一できなかったのかなという気がするんですけども、同じ学校で、片っ方には高いのついて、片っ方には安いのがついてというようなイメージが起きるんですね。そこ、どうしてこうなったのか、その辺についてもう少し説明願います。

○議長（須藤正人君） 千葉教育長。

○教育長（千葉良一君） つけた当時によっても、同じ内容であっても、金額が違う場合もあります。それから、同じ機種でも台数が少なく、主装置が安くて、それに見合うコードレスだと1台当たりの単価が安いということもあります。それからビジネスフォン、例えば中学校みたいに2階にもある教室も多い、そういう場合だとビジネスフォンになりますけれども、家庭用の電話機よりもちょっといいくらいの普通のビジネスフォンまではいかないけれども子機をつけられる電話機。そして、コードレスもつけることができるという電話機をつけている学校もありますので、学校規模にもあわせてつけていると。必ず学校の要望も受けて、その台数を決めておりますので、つけた時期、つける機種、その等によって金額の違いがあるということでありまして。

以上です。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。7番皆川鉄也君。

○7番（皆川鉄也君） 11ページの6目の企画費の一般コミュニティ助成事業の補助金、小入川地区の方で助成を受けるようでございますが、補助金の内容につきまして具体的にお知らせをいただきたいと思えます。

○議長（須藤正人君） 武田企画財政課長。

○企画財政課長（武田 武君） コミュニティ備品関係についてご説明いたします。

今回、小入川から要望のありましたものについてですが、まず音響機器関係、これが69万円、70万円弱です。それから、お祭り用具と軽量テーブルという形の備品関係でございます。あと発電機12万8,000円のが1台、あとコミュニティマークということでシールの貼るもの等、合わせて182万8,575円の要望がありまして、そのうち宝くじの財源として180万円を自治総合センターから助成になるものでございます。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。7番皆川鉄也君。

○7番（皆川鉄也君） そうしますと、よその自治会からも各地域でそれぞれお祭り、いろんなイベント等があるわけでありまして、その都度必要な備品等があれば、このコミュニティ事業でいろいろな補助起ることが可能だということになりますか。それとも、町の方では年次計画みたいな計画に基づいてこういうことを実施していくのかですね。もしやれるものであれば、各自治会そんなに経費的に余裕はないと思うんで、こういうことをあるのが判ればですね、かなりきっと需要があるんじゃないかなという気がするんですが、有効に使っていただくとすれば、もうちょっとPRの仕方もあるんじゃないかなという具合に思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（須藤正人君） 武田企画財政課長。

○企画財政課長（武田 武君） 宝くじを財源にしております、2年に1回程度の割合で市町村に來ます。平成19年には水沢自治会、あと平成21年度に中浜、23年度に茂浦、今回は連続してはすけれども小入川ということで、今まで4自治体。全部の自治会から要望があるかと思うんですけれども、その都度ですね自治会からこういう新規ものの祭とかそういうのがあったときに優先的にこれらを張りつけていきたいということで、いずれ2年に1回の割合ですので、その都度自治会から要望があれば、それぞれこちらで審査というよりも、向こうの方に申請を上げまして採用になればこの財源がいただけるという形なのかと思えます。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。7番皆川鉄也君。

○7番（皆川鉄也君） 課長からご答弁いただきましたが、大変有効な事業ですので、各

自治会おそらく中身が判ればですね、要望殺到するんじゃないかなという気がするんですが、是非こういった有効な手だてがありましたら、それぞれPRをしていただいて地域活性化に役立てていただければと思いますので、この後、お知らせ版でも結構でございますので、要望が近くなったらですね一声掛けていただければ、各自治会からいろんな多種多様な要望が上がってくるんじゃないかなという具合に思いますので、そこら付近心配り宜しく願いをいたしたいと思います。

○議長（須藤正人君） 武田企画財政課長。

○企画財政課長（武田 武君） これまでも自治会長さん方にもお話しております。お知らせ版でどのような形で、また、自治会以外の団体ということも考えられるかと思えます。いずれ相談窓口を設けておりますし、申請書類関係は企画財政課の方がお手伝いしながら申請を上げておりますので、余り周知して殺到してもですね、十何年後でないと当たらないというふうな形のものもありますので、その都度やっぱりこちらとしては、こういう形で今コミュニティー関係進めようとしているそういうものを選別しながらやっていかざるを得ないのではないかなというふうにも思っております。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） 一番最初に質問しました青年就農のところで、ちょっと答弁が私が質問したのを非常に短く答弁されてしまったので、国の方では45歳未満、現在じゃあ町の方では何歳から何歳までがこれを利用するということと、それから本当に青年としてこれから担い得る人材なのかどうなのかというふうなことをお願いします。

それともう一点、11ページの地域情報化事業費なんですけれども、やはり小入川の難聴地区の手数料というふうなことでしたが、小入川の難聴はいろんな今まで一般会計にも載ってましたが、この八峰町全体でラジオが聞き取りにくい箇所がかなり多いと思うんです。停電になった場合に頼るのはもうラジオですので、このラジオが聞き取りにくい地域に何か手だて、防災対策も一つになると思うんですが、テレビの情報だけではなく、これからラジオの情報が非常に大事になってくるということで、このラジオの難聴地域の町内のアンケートを取るなり、何か対策を考えないものでしょうか。

○議長（須藤正人君） 答弁を求めます。松森農林振興課長。

○農林振興課長（松森尚文君） 青年就農給付金について、もうちょっと詳しく説明いたします。

国の年齢要件は原則として45歳未満。それで、当町、八峰町は今回14名分の予算を計

上しております。これは先に行ったアンケート調査結果、それから、これは集落座談会等で各農家にも周知を図りました。その結果、役場の方へ相談に来られた方、それで、県の方へその14名のリストを提出しております。今ここに資料はありませんけども、20代、30代がほとんどです。宜しいでしょうか。

○議長（須藤正人君） 武田企画財政課長。

○企画財政課長（武田 武君） ラジオの難聴関係について、八森地区において特に茂浦とかですね中浜地区、ここを車で走っていてもラジオの入りが良くありません。原因等については、NHKさんともテレビの方のときに要望は出しております。いずれどのような解決策があるのか伺いながら、ラジオについても要望が出てきておりますので、再度確認しながらどのような対処方法があるのか協議してまいりたいというふうに思います。

○議長（須藤正人君） 2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） NHKの方とも協議しておられるようですので、前向きな答弁、本当にこれからも続けてもらいたいと思います。

その際にですね、FMも是非聴けるようなその体制もとってもらいたいと思います。私もこの間、こちらの方に来てからFMが、ラジオが聴けないので、非常に苦勞しています。是非、茂浦、中浜、浜田方面走っても聴こえないところがあるんですけども、どこの箇所かをしっかり調べて、是非進めてもらいたいと思います。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。4番丸山あつ子さん。

○4番（丸山あつ子さん） 32ページの臨時校務員の異動の件について簡単にお尋ねいたします。埴川小学校から水沢小学校へ異動していますが、水沢小学校の方では欠員か何かできてなのでしょうか。そしてまた、埴川小学校の方ではそれがまた減って、不自由なとかということはないものなのですか。

○議長（須藤正人君） 千葉教育長。

○教育長（千葉良一君） 丸山議員のご質問にお答えいたします。

ちょっと説明に舌足らずなところもありました。町の定期の人事異動で水沢小学校に勤めております正規の校務員を埴川小学校に異動させて、埴川小学校におります臨時の校務員を水沢小学校に配置した関係で、かかる予算の異動をしたわけであります。

以上です。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。10番佐藤克實君。

○10番（佐藤克實君） 八森中学校費なんですけれども、体育館に遮熱のカーテンを引くという予算でありますけれども、建設当初から、もうこのような設備は必要であったのではないかという話はされてきたわけなんですけれども、その建設当時も中にはやっぱり樹脂のカーテンなんかでやはり暖房効果を上げるような方法をとれないかというような話をしてきたわけなんですけれども、今回、遮熱カーテンということで、どの程度のその効果を期待しているのかですね。今回260万円という予算を盛ったわけなんですけれども、なぜ今回盛ったのか、もっと早く盛れなかったのか、これまできめ交とかいろいろなその100%補助の補助金あった時、わざわざこの町単独でね、これ260万円のお金を出すというのは、どういうその感覚でつけることになったのか。その経緯をですねちょっと説明いただければありがたいと思います。

○議長（須藤正人君） 答弁を求めます。辻教育次長。

○教育次長（辻 正英君） ただいまのご質問でありますけれども、当初、体育館の方にカーテンがなかったのかということが第1点目でありますけれども、当初ではカーテンが設置されてました。これは設置されたカーテンの種類は、断熱防災カーテンということで、第2アリーナの2階部分の方に設置されているということで図面に明記されてましたのが判りました。

あとそれで、何で今の段階かと。きめ交とかそういう時に何でやらないかということであったんですけれども、前々からやはり何か消防の大会とか、あと、卒業式とか各種行事をやった場合、大変寒いと。これは何とかしなければならないということで要望が出されてあったんですけれども、まず年に1回か2回ぐらいなので、まず我慢しようかなということで状況を見てあったんですけれども、調査した結果、当初やはりカーテンが設置されてあったということが図面を見た結果判りましたので、一応今回、当初と同等のカーテンを設置するというので、今回予算計上させていただきました。当初のカーテンは、じゃあなぜ撤去しているのかということなんですけれども、これやはり昭和61年ですね、建築なって、当時に設置したものであります。それからやっぱり何十年も経っていますので、劣化してあったと。そして、逆に子ども方が大変危険な状態であったということで、10年くらい前という、その頃に撤去したということで調査結果判りましたので、今回設置予算をお願いしたところでありまして。宜しくお願いいたします。

○議長（須藤正人君） 10番佐藤克實君。

○10番（佐藤克實君） その20年以上経っているわけなんですけれども、その間ですね、いろ

んなその卒業式、入学式、いろんなイベントあったときも、あったかいなんていうイメージはないんですね。どの部分に下げるのか、以前のその遮熱カーテンだとすれば、おそらくそんなに期待できないのかなというような感じを持つんですけども、大丈夫なんですかね、そんなカーテンで。その辺ね、やはりもっと慎重に、本当に効果のあるようなものを考えられてみたらどうかと思うんですけども、いずれもう卒業式だ何だ行って、あったかいなんて感覚は一つもなかったんですね。それと同じような感覚でつけるとすれば、おそらくほとんど効果ないのかなというような感じを思うんですけども、お願いします。

○議長（須藤正人君） 辻教育次長。

○教育次長（辻 正英君） 当初で設置してあった箇所は、第2アリーナの方の2階の方の部分にのみ設置してました。ですから、まず上部の空気の流れといいますか、それをまず遮断して、断熱効果をねらったという目的で推察されますけども、やはりそれだけでは足りない。それで、第1アリーナの方の体育館の入り口側の方のところにも今回はこの断熱カーテンをまず施工して、上・下をまず遮断すれば効果が高くなるんじゃないかということで今回計画しております。

○議長（須藤正人君） 休憩いたします。

午後 0時12分 休 憩

.....

午後 0時12分 再 開

○議長（須藤正人君） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

5番門脇直樹君。

○5番（門脇直樹君） 八森保健センターの改修工事についてちょっと聞きたいと思いません。

八峰町、とりわけ八森地区は、公共施設のみならず一般住宅でも塩害対策というのは大変重要な問題です。先日の全協の説明資料を見ましても、海岸に面している外壁を中心に強風時の砂飛散等による外壁摩耗が見られ、防水性が弱くなっていると書いてあります。当初、保健センターを建てた際に、建設した際に、それを考慮して塗装工事、外壁工事をやったにもかかわらず、摩耗が、傷みが激しくなったのか。そしてまた、それを考慮して、当然考慮してこの予算を計上したのか、その辺をお願いします。

○議長（須藤正人君） 佐々木福祉保健課長。

○福祉保健課長（佐々木充君） 塩害対策、いわゆる海岸部における塩害対策の関係についてお答えしたいと思います。

大変申し訳ありませんけど、当初の経緯に、設置されて、そういう塩害対策どのようにやってあったのかというのは、すいませんちょっとそういうデータのものを持っていないので、ちょっとその点をご理解願いたいと思いますけれども、まず今回やる改修というのは、ほとんど外壁、サイディングボードの塗装、それから外に出ている鉄柱部分の塗装、さびている部分の塗装だわけですけれども、インターネットなんか見ますと、このサイディングボードの最初の出ている塗料というのが一般的にアクリル樹脂塗料というのを塗っているらしいです。それで、塗料の種類はアクリル樹脂塗料、それからウレタン樹脂塗料、シリコン樹脂塗料、フッ素樹脂塗料という4種類ぐらいあるようで、今言った一番耐用年数、性能的に落ちるのが、このアクリル樹脂と。それで、一番性能の耐用年数等があるのがフッ素樹脂というのが載っていました。それで今回、塩害対策の一環としてですけれども、外壁塗装には、このフッ素樹脂塗料を塗装でやってみたいと、そういう予算を計上しております。

以上です。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。5番門脇直樹君。

○5番（門脇直樹君） 八森地区の公共施設に関しては、この塩害仕様、塩害対策というのは、度々問題になる事例です。そうした中でね、特に保健センターは塩害だけでなくね、砂の飛散、これもう判りきってることですよ。そうして、こう350万円もかけてね塗装工事等、外壁工事等やらんならぬ。砂の対策も絡めた何か対応、対策も、そして砂も道路に飛散したり、これもまた度々問題になっていることです。ですから、外壁だけを考えるんでなく、その砂の飛散、その辺も考慮した対応が望ましいと思いますが、どうですか。

○議長（須藤正人君） 佐々木福祉保健課長。

○福祉保健課長（佐々木充君） 総合的に砂の飛散等によるものまで、要はそこは外壁部分はサイディングボードなんですけれども、はっきり申しまして、そこまで砂に強いものがどういうものかということまでは検討はしませんでした。とりあえずといえば変ですけれども、雨垂れとかです。ね塗料面がはげて、手で触るとボロボロになっているというようなことで、そのためにまず今回、塗料、外壁の塗装をします。塩害対策、議会の付帯意見でも出ていましたけれども、通常ウレタン樹脂塗料ということでやるような

んですけれども、今回はちょっとグレードアップしたような形で耐用年数の長いフッ素樹脂塗料、これを使ってみたいということで今回予算計上したものです。宜しくお願いします。

○議長（須藤正人君） 加藤町長。

○町長（加藤和夫君） 若干補足しておきますけども、先頃、見上議員の方からもあそこから周辺の飛散の関係についてお話がございました。それで、防波堤を、護岸をかさ上げするとかという提案もございましたけども、先頃、中浜の自治会の方にもあその場所はひとつは花火大会をやる場所であり、また景観上の問題もいろいろあったり何かして、それとこの防護するその整合性の問題が必要であるということで、自治会長の方にも中浜の自治会で今度会合あった際にはいろいろ話し合ってくださいという話はしております。

それから、今の件でございませうけども、おっしゃられたように確かに塗装だけでいいのかという問題もあると思いますので、この後、例えばネットを張ってですね砂を防ぐとか、そういう対策も必要だとすれば、またそういうものもまた考慮に入れなきゃならないかと思っておりますので、その際また改めてご提案をさせていただきますけれども、今回の塗装はとりあえずグレードのいいものでまず頑張ってみるということなので、ご了解を願いたいと思います。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） ほかに質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより議案第71号を採決します。お諮りします。本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 異議なしと認めます。従って、議案第71号は原案のとおり可決されました。

休憩いたします。1時再開します。

午後 0時19分 休 憩

午後 0時59分 再 開

○議長（須藤正人君） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

会議の前に、先ほど見上議員から質問のあった青年就農給付事業補助金について、松森農林振興課長から補足があります。

○農林振興課長（松森尚文君） ちょっと先ほどの見上さんの質問に対しては、20代、30代がほとんどでありますと言いましたけど、正確に調べました結果、10代が3名、20代が3名、30代が7名、40代が1名、計14人となります。

○議長（須藤正人君） 休憩いたします。

午後 1時00分 休 憩

午後 1時00分 再 開

○議長（須藤正人君） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

日程第13、議案第72号、平成24年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

当局の説明を求めます。金平町民生活課長。

○町民生活課長（金平公明君） 議案第72号、平成24年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）についてご説明します。

歳入歳出予算額の総額に、それぞれ42万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億7,101万1,000円とするものでございます。

平成24年6月13日提出

八峰町長 加 藤 和 夫

5ページをお開きお願いします。

主なものは、歳入でございます。

歳入は税額が課税標準額の確定に伴う保険税の減額をするものでございます。

1款1項1目一般被保険者国民健康保険健康保険税でございます。補正が2,844万5,000円の減額でございます。2目の退職被保険者等国民健康保険税637万5,000円の減額でございます。

次に、6ページでございます。

4款1項1目療養給付費交付金でございます。454万6,000円の追加でございます。

10款1項2目その他繰越金3,069万4,000円の追加でございます。これは前年度の繰越金を充ててございます。

それから、歳出でございます。

1款1項1目一般管理費でございます。42万円の追加で、委託費の追加でございます。これは所得税法の改正により、システム改修する委託分の42万円でございます。

それから、2款1項2目退職被保険者等療養費交付金でございます。これは財源内訳の変更でございます。

それから、8ページでございます。3款1項1目後期高齢者支援金でございます。補正額はゼロで、これも財源内訳の変更でございます。

以上でございます。

○議長（須藤正人君） これより議案第72号について質疑を行います。質疑ありませんか。

2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） 歳入ところで、保険税を3,400万円減額して繰越金を3,000万円にしていますけれども、当初からですねこの3,000万円というのは繰越金見込んでたんじゃないですか。23年度の予算では繰越金が7,000万円入って、今年度は4,000万円の減で新しい保険税が予算の中に出されたんですけれども、これでも3,000万円繰り越して6,000万円の繰り越しということになります。当初のこの予算の見込みの違い、これをどのように感じていますか。

○議長（須藤正人君） 2番議員の質問に対し、答弁を求めます。金平町民生活課長。

○町民生活課長（金平公明君） お答えします。

繰越金についてはですね、当初予算では医療費も支出の方も歳入も確定してございません。ということで、3,000万円の繰越金は妥当と考えてございます。今の段階で税の方も確定して、支出の方の医療費も確定した段階で税率の据え置き等考えてございますので、当初の3,000万円の見込みは妥当かと考えてございます。

以上であります。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） ほかに質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） 私は反対討論します。